



交通事故のない明るく住みよい町をめざして

第2回八峰町交通安全大会を開催しました

交通安全優秀作品

【標語の部】

酒飲んだ 後の運転 悪魔付き
八森小4年 佐々木涼真
シートベルト みんながしめたら さあ出発！
水沢小6年 芹田 恭佑
あっそうだ！！ 後ろの席も ベルトだよ
瑠川小5年 八田 蒼平
信号機 命を守る 明かり見て
八森中2年 須藤 仁美
飛び出さな 時間と命 選ぼうよ
峰浜中3年 小林 梨紗

【作文の部】

子どもたちを守ってくれてありがとう
八森小5年 松岡 清か
交通事故の恐ろしさ、そして考えたこと
水沢小6年 中野慎太郎
みんなで守ろう交通ルール
瑠川小6年 小沢 理夏
大切な命を守るために
八森中1年 齊藤 剣
危険が潜む通学路を見直して
峰浜中1年 佐藤 天斗

11月29日、第2回八峰町交通安全大会が峰浜中学校体育館で行われました。この大会は町と八峰町交通安全対策協議会の共催で、「交通事故のない明るく住みよい八峰町」をつくるため、交通安全思想の啓発や普及を図ろうと隔年で開催するものであり、今年が第2回目の大会です。

大会では、はじめに交通事故の犠牲者に黙祷を捧げたあと、佐々木副町長が「酒気帯び運転や速度オーバーなどの交通規則違反は、依然として後を絶ちません。特に飲酒運転等住居別実態調査では、10月末現在で全県25市町村中22位となっています。運転者のモラル向上と家族・地域ぐるみで更なる交通安全運動を強化しなければなりません。町では、平成19年5月8日に発生した死亡事故以来、交通死亡事故ゼロの記録を更新中であり、本日現在で936日を数えています。1000日達成を目指して今後も交通安全活動にご協力ください。」と挨拶しました。

続いて、表彰式が行われ、交通安全功労者や交通安全に関する標語と作文で優秀作品に選ばれた小中学生に表彰状が贈呈。「作文の部」で優秀作品に選ばれた受賞者が交通安全の大切さを書いた作文を発表しました。

大会の最後は、八峰町交通安全母の会会長の高崎修子さんより大会宣言が読み上げられ、交通事故のないまちづくりを誓い合いました。

また、大会終了後には八峰町交通安全母の会による交通安全音頭や県警音楽隊による演奏など、アトラクションも行われました。

いい夫婦の日
11月22日

「八峰町関東ふるさと会」が誕生しました



11月22日、東京都のアルカディア市ヶ谷において、「八峰町関東ふるさと会誕生記念大会」が行われました。旧八森町出身者による東京八森会、旧峰浜村出身者による関東峰浜ふるさと会を解散して立ち上げた新しいふるさと会には、会員のほか町や議会、農協、近隣ふるさと会の来賓など、あわせて約230名が参加しました。

総会でははじめに、秋山・米森両ふるさと会会長の挨拶が行われ、固く握手が交わされました。ふるさと会の発展的解散を満場一致で承認するとともに、会則、事業計画、予算を決め、会長には、神馬信一さん(小手萩出身)が選出されました。

続いて行われた懇親会では、神馬新会長が「会員と町のパイプ役になりたい」と挨拶。地元銘酒「白瀑」を心行くまで堪能し、ふるさとの味きりたんぼ鍋を囲みながら、同郷同士の久々の再会に近況報告や思い出話をしたり、新たな交流の輪を広げていました。民謡やカラオケなどの余興のほか、「八峰町民歌」、「ふるさと」の大合唱も行われました。

また、会場では白神八峰商工会とおらほの館産直会が地元の特産品コーナーを開設したほか、雄島花火実行委員会のメンバーも寄附金の協力を呼びかけました。



新車・中古車販売(国産全メーカー)

車検・定期点検・钣金塗装

沢目自動車

TEL76-2065 FAX76-3280
沢目駅前



利用料金値下げし利用しやすく致しました

いつでもご見学、ご相談可能

グループホーム

いこい

八峰町峰浜田中字立花13-1
TEL 70-3151